

## デジタル教科書の配置及び期待される効果について

学務課

## 1 配置

## H27年度【小学校・指導者用デジタル教科書導入】

算数科1・2年（東京書籍）	} 全学校に1セットずつ配置。
国語科4年（教育出版）	
社会科5・6年（東京書籍）	

## H28年度【中学校・指導者用デジタル教科書導入】

社会科[地理, 歴史, 公民]（東京書籍）	} 各学校にそれぞれ1セットずつ配置。
理科（1～3年）（第日本図書）	
英語科（1年）（教育出版）	
（2・3年）（開隆堂出版）	

## 【英語科】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1年	教育出版	教育出版	教育出版
2年	開隆堂	教育出版	教育出版
3年	開隆堂	開隆堂	教育出版

※学習内容の連続性を考慮し、段階的に導入。

## 2 期待される効果

- ① 授業準備の効率化が図れる。
- ② より良い授業づくりに効果が期待できる。
- ③ 教科書の内容を拡大提示できるため「学習情報の共有化」が図れる。
- ④ 文や絵、写真、図表を選択して表示できるため、教材内容の「焦点化」ができる。
- ⑤ 音声、アニメーション、動画などによる「視覚化」で内容の理解を一層深められる。
- ⑥ 学習情報が共有されることで、話し合い活動を活性化することができる。
- ⑦ 他学年・教科のデジタル教科書も同じ仕組みで動作するので、授業の流れの中でスムーズに他教科の内容を参照できる。組み合わせ次第で様々な学習連携が可能のため、学年・教科を超えた教科書の活用ができる。

## 教職員の勤務時間調査の実施について

市内小・中・義務教育学校に勤務する県費負担教職員の勤務時間の状況把握のために平成27年度から調査を行っている。

1. 調査内容
  - ① 11月の教職員1人当たり1日の平均超過勤務時間
  - ② 11月の教職員1人当たり1日の平均持ち帰り勤務時間
  - ③ 11月の教職員1人当たり週休日等の1日平均勤務時間
  - ④今年度、時間外勤務の縮減に向けてどのような取り組みを行ったか。

### 2. 調査の詳細

- (1) 調査期間 11月1日から30日  
\* 課業日を20日、週休日等の休業日を10日
- (2) 対象者 県費職員（校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、事務職員、常勤講師）
- (3) 調査方法 教職員一人一人が出退勤の時刻を記録し、超過勤務時間、および持ち帰り勤務時間についても記録する。

### <教職員記録用シート>

2017年 11月											
No	1	職名	校長	氏名	氏名を入力						
日	曜日	出退勤時刻		就業時刻		就業時間		合計	①超過勤務時間	②持ち帰り勤務時間	③週休日等の勤務時間
		出勤	退勤	開始時刻	終了時刻	基本	早出 残業				
1	水										
2	木										
3	金										
4	土										
5	日										
6	月										
7	火										
8	水										
9	木										
10	金										
11	土										
12	日										
13	月										
14	火										
15	水										
16	木										
17	金										
18	土										
19	日										

### <集計用シート（報告）>

- 1 11月の教職員1人当たり1日の平均超過勤務時間  
主な内容  
[ ]
- 2 11月の教職員1人当たり1日の平均持ち帰り勤務時間  
主な内容  
[ ]
- 3 11月の教職員1人当たり週休日等の平均勤務時間  
主な内容  
[ ]
- 4 今年度、時間外勤務の縮減に向けてどのような取り組みを行いましたか。  
(簡潔書きで、できるだけ具体的にお答えください。)